

2月3日(月)

令和7年度 A日程入学試験問題

選 択 科 目 ①

(日 本 史 ・ 世 界 史)

— 注意事項 —

- 1 問題ページは以下のとおり。解答用紙はいずれの科目も1枚である。

日本史（歴史総合含む）	1～14 ページ
世界史（歴史総合含む）	15～29 ページ

- 2 選択した科目は、解答用紙の科目名欄へ指示にしたがって記入し、選択欄を必ずマークすること。
- 3 解答は、解答用紙の解答マーク欄へ問題の指示にしたがってマークすること。
解答用紙は2科目共通であるから、科目によってはマークしなくてもよい解答マーク欄がある。
- 4 日本史・世界史ともに、大問5は「歴史総合」となる。大問5の解答欄は裏面にあるので解答忘れに注意すること。
- 5 試験時間は60分である。

日本史

1 この問題は、解答欄 1 ～ 8 に解答すること。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(23点)

壬申の乱を制して強大な政治権力を手にした天武天皇は、(1) 中央集権の政策を推し進めるとともに、唐にならって (2) 錢貨の鑄造に着手した。錢貨の鑄造は8世紀以降も続けられたが、民衆に課せられた (3) 租・調・庸などの税は稲や布などによる物納が中心で、平城京の市でも貢納された産物や官人に支給された布などが交換された。全国各地からさまざまな産物が運ばれていたことは、平城京などから出土した大量の (4) 木簡からも明らかとなっている。

律令制の下での農民の負担が大きかったため、浮浪・逃亡によって課役を逃れる者も現れ、9世紀頃には (5) 戸籍作成の際に偽籍が横行するようになった。10世紀になると、租や調・庸を取り立てて諸国や国家の財政を維持することが困難となり、財源確保のために売官・売位も行われた。一国の財政と徴税の権限をもつ 6 の中には巨利を得ようとする強欲な者も現れ、(7) 蓄えた私財で有利な地位を得ようとする成功も盛んに行われた。『尾張国郡司百姓等解』（以下、抜粋）は、10世紀末頃の地方政治の実情を具体的に伝える史料となっている。

尾張国の郡司百姓等解し申し請ふ官裁の事

裁断せられむことを請ふ、当国の守^{かみ}藤原朝臣元命、三箇年の内に責め取る非法の官物^{あわ}并せて濫行横法三十一箇条の愁状

一、(8) 例^{れい}挙^この外に三箇年の収納、暗^{もつ}に以て加徴^{しやうぜい}せる正税四十三万二千二百四十八束が息利の十二万九千三百七十四束四把一分の事。

一、(9) 守元命朝臣、京より下向する度毎に、有官^{うかん}、散位^{さん}の従類、同じき不善の輩を引率するの事。

問1 下線部(1)に関して、天武天皇が行った政策として最もふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄 1 にマークしなさい。

- | | | |
|---------|-------------|-----------|
| ア 郡の設置 | イ 飛鳥浄御原令の施行 | ウ 庚寅年籍の作成 |
| エ 部曲の廃止 | オ 藤原京遷都 | |

問2 下線部（2）に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ア 富本銭に始まる律令政府発行の銭貨を皇朝十二銭という。
- イ 708年、律令政府は唐の乾元大宝にならって和同開珎を鑄造した。
- ウ 和同開珎には銅銭と銀銭があり、鑄銭司で鑄造された。
- エ 銭貨の流通を図るために政府は、京・畿内では調と庸を銭で納めさせた。

問3 下線部（3）に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ア 租は口分田に課される税で、収穫された稲の約3割を郡家に納めた。
- イ 調は諸国の産物34品目を物納させるもので、中央政府の主要財源となった。
- ウ 庸は雑徭の代わりに麻布を納めさせ、政府はこれを財源とする雇役で都の土木事業を行った。
- エ 調・庸などの貢納物を京まで運ぶ運脚は、諸国の良民男性の義務であった。

問4 下線部(4)に関して、長屋王邸出土の次の資料から読み取れる内容として誤っているものを、ア～エの中から1つ選び、解答欄 4 にマークしなさい。

①



長屋親王宮鮑大贅十編

注) 鮑：アワビ

②



周防国大嶋郡屋代里田部菰御調塩三斗

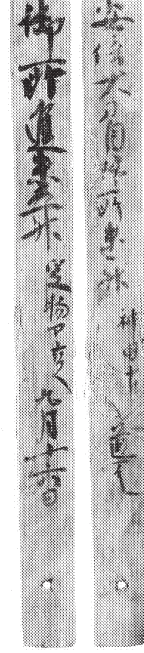
③ 裏 表



御馬司信濃一口甲斐一口上野二口右
四米四升五月二日
「受板部」
黒万呂

注) 馬司：馬の飼育係

④ 裏 表



・安倍大刀自御所米一升 神田古
「道万呂」
・御所進米五升 受物部立人
九月十六日

注) 安倍大刀自：長屋王の側妻

- ア 資料①から、長屋王が「長屋親王」と呼ばれ、贅が進上されていたことが読み取れる。
- イ 資料②から、現在の山口県から塩が進上されていたことが読み取れる。
- ウ 資料③から、馬の飼育係の4人に米が支給されていたことが読み取れる。
- エ 資料④から、長屋王の側妻が内裏の御所に住んでいたことが読み取れる。

問5 下線部(5)に関して、当時の偽籍の手段としてふさわしいものを、次のア～エの中から2つ選び、解答欄 5 にマークしなさい。

- ア 成年男性の数を増やして、班田以外に賃租で多くの収入を得ようとする。
- イ 班田は受けるが調・庸を課されない女性の数を増やすことで、戸の負担を軽くする。
- ウ 成年男性の数を水増しして、より多くの班田の給付を不正に受けようとする。
- エ 正丁の年齢を偽り老丁にすることで、調・庸・雑徭の負担を半分にする。

問6 空欄 にあてはまる語句として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から1つ
選び、解答欄 にマークしなさい。

ア 在地領主 イ 摂関家 ウ 名主 エ 押領使 オ 受領

問7 下線部（7）に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解
答欄 にマークしなさい。

- ア 人事権を握る摂関家に賄賂を贈り、任国に赴任しない遥任を認めてもらうこと。
- イ 院や摂関家に私領を積極的に寄進し、領家の地位の世襲を認めてもらうこと。
- ウ 国衙領の実権をにぎる在庁官人に世襲的に任じてもらうこと。
- エ 朝廷儀式の費用や社寺の造営を請け負い、その見返りに官職に任じてもらうこと。

問8 史料の下線部（8）（9）の内容に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の
中から2つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ア 下線部（8）は、定例の出挙のほかに、ひそかに43万束以上の官稲を貸し付け、12万束以
上の利稲を3年にわたって徴収したと告発している。
- イ 下線部（8）は、定例の出挙である43万束余りのほかに、ひそかに12万束以上の官稲を貸
し付け、過分の利稲を徴収したと告発している。
- ウ 下線部（9）は、国守が京から下向する度に、行いの悪い従者たちを連れてくることを訴
えている。
- エ 下線部（9）は、国守が京から引率した従者たちを、不正に在庁官人に取り立てたと訴え
ている。

2 この問題は、解答欄 **21** ～ **28** に解答すること。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(23点)

応仁の乱を契機に室町幕府の力が弱まると、各国では守護代や国人の力が強くなり、やがて独自の支配を行う戦国大名が誕生した。戦国大名は、家臣団統制や領国支配のための政策を次々に打ち出し、領国支配のための基本法典として、分国法（家法）や家訓を制定することもあった。以下の史料A～Dは、そうした分国法の一節である。

史料A『朝倉孝景条々』

- 一、(21)朝倉が館の外、国内に城郭を構へさせまじく候。惣別分限あらん者、(22)一乗谷へ引越、郷村には代官ばかり置かるべき事。

史料B『甲州法度之次第』

- 一、私領の名田の外、恩地領は左右無く (23)沽却せしむる事、これを停止し訖んぬ。此の如く制すと雖も、抛ろ無くば子細を書き上げ年期を定めて売買せしむべき事。

史料C『今川仮名目録』

- 一、**24** 両国の輩、或はわたくしとして他国より嫁をとり、或は婿にとり、娘をつかはす事、自今以後停止し畢んぬ。

史料D (25)『塵芥集』

- 一、百姓、(26)地頭の年貢所当相つとめず、他領へ罷り去る事、盗人の罪科たるべし。

問1 下線部(21)の朝倉氏は、主家をしのいで越前守護に成長したが、もともとの主家として最もふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄**21**にマークしなさい。

ア 一色氏 イ 京極氏 ウ 斯波氏 エ 畠山氏 オ 細川氏

問2 下線部(22)は代表的な城下町の1つだが、戦国大名と城下町の組み合わせとして最もふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄**22**にマークしなさい。

ア 今川氏 — 小田原 イ 上杉氏 — 直江津 ウ 大内氏 — 山口
エ 大友氏 — 尾道 オ 島津氏 — 坊津

問3 下線部(23)の意味として最もふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄**23**にマークしなさい。

ア 解放 イ 購入 ウ 荒廃 エ 売却 オ 略奪

問4 空欄 24 には、2ヶ国を表す文字が入るが、その2ヶ国の組み合わせとして最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄 24 にマークしなさい。

- ア 三河・遠江 イ 三河・駿河 ウ 甲斐・遠江
エ 甲斐・駿河 オ 駿河・遠江

問5 下線部 (25) を制定した人物として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄 25 にマークしなさい。

- ア 大内義隆 イ 大友義鎮 ウ 伊達植宗 エ 北条氏康 オ 六角義賢

問6 下線部 (26) の内容として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 26 にマークしなさい。

- ア 地頭へ年貢を納入せず、他の領主の所領へ逃げた場合、盗人として処罰する。
イ 地頭が年貢を奪うように、他の領主の所領で盗人の罪を犯すようなものである。
ウ 地頭へ年貢を納入した上で他領へ移動すれば、罪を盗人のせいにできる。
エ 地頭へ年貢を納入しても他の場所へは移動させないが、盗人は処罰する。

問7 史料A～Dの中で、現存する条文数が最多の分国法として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 27 にマークしなさい。

- ア 史料A イ 史料B ウ 史料C エ 史料D

問8 分国法およびそれを制定した時代に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 28 にマークしなさい。

- ア 金山・銀山の開発には危険がともなったため、大名は関心を示さなかった。
イ 異なる大名領の者同士では、容易に婚姻関係を結ぶことはできなかった。
ウ 『甲州法度之次第』は、『今川仮名目録』の成立に影響を与えている。
エ 今川義元は、祖父氏親の死後に『仮名目録追加』を制定して補訂した。

3 この問題は、解答欄 **41** ～ **48** に解答すること。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(23点)

17世紀にスペインから正式に独立した **(41)** オランダと、スペインの無敵艦隊を破ったイギリスの両国は、**(42)** 東インド会社を設立して、アジアへの進出をはかった。両国は、それぞれ幕府から貿易の許可を受け、**43** の平戸に商館を開く。一方、ポルトガル商人は中国産生糸を長崎に運び、日本の銀と交換して巨利を得ていた。それに対し、幕府は **(44)** 糸割符制度を設けて、ポルトガル商人の利益独占を排除する。また、**(45)** キリスト教の禁教政策とともに、貿易による西国大名の富強を恐れ、外国貿易の統制もおこなった。そして、**(46)** 島原の乱を鎮圧した後、ポルトガル船の来航を禁止し、**(47)** 平戸のオランダ商館を出島に移して、日本は、いわゆる **(48)** 鎖国状態に入ったのである。

問1 下線部 **(41)** に関する説明として最もふさわしいものを、次の **ア～エ** の中から1つ選び、解答欄 **41** にマークしなさい。

- ア 新教（プロテスタント）国のスペインによる宗教的弾圧から逃れるため独立した。
- イ 1600（慶長5）年に豊後臼杵に漂着したサン＝フェリペ号は、オランダの探検船である。
- ウ リーフデ号の水先案内人であったウィリアム＝アダムズは、イギリス人である。
- エ 幕府は安政の五カ国条約（修好通商条約）を結ぶが、オランダは入らなかった。

問2 下線部 **(42)** についてヨーロッパの東インド会社に関する説明として最もふさわしいものを、次の **ア～エ** の中から1つ選び、解答欄 **42** にマークしなさい。

- ア イギリスやオランダのほかに、フランスも設立していた。
- イ オランダは対日貿易から撤退し、インド貿易に重点をおいた。
- ウ イギリスはオランダとの抗争後、1623年平戸に商館を開設した。
- エ オランダのアジア貿易の拠点は、インドのゴアに置かれた。

問3 空欄 **43** にあてはまる国名として最もふさわしいものを、次の **ア～オ** の中から1つ選び、解答欄 **43** にマークしなさい。

- ア 筑前 イ 豊前 ウ 肥前 エ 薩摩 オ 対馬

問4 下線部(44)に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エの中から1つ選び、解答欄 44 にマークしなさい。

- ア 糸割符仲間を不特定多数の商人に自由に作らせた。
- イ 糸割符仲間は毎年秋に輸入生糸の価格を決定した。
- ウ ポルトガル商人はマニラを拠点に中国産の生糸を運んだ。
- エ ポルトガルのみならず中国やオランダにも適用された。

問5 下線部(45)に関する江戸幕府の政策の説明として最もふさわしいものを、次の ア～エの中から1つ選び、解答欄 45 にマークしなさい。

- ア キリシタンに神道への改宗を強制した。
- イ 寺請制度を設けて宗門改めを実施した。
- ウ 山田長政ら300人余りをマニラに追放した。
- エ 長崎で宣教師ら26人を処刑した。

問6 下線部(46)に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エの中から1つ選び、解答欄 46 にマークしなさい。

- ア 益田時貞(天草四郎)を首領にして島原城に立てこもった。
- イ 鎮圧に幕府や諸大名のほか、オランダ船も砲撃して加担した。
- ウ 有馬晴信と小西行長の圧政に抵抗した土豪や百姓の一揆である。
- エ 国学者の生田万は、天草四郎の乱に呼応して乱を起こした。

問7 下線部(47)に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エの中から1つ選び、解答欄 47 にマークしなさい。

- ア 出島のオランダ人と日本人との間では、自由な交流が認められた。
- イ 出島では外国奉行がきびしく監視したため、自由な交流は禁じられた。
- ウ オランダ商館長は東インド会社の日本支店長だが、将軍に拝謁できなかった。
- エ オランダ船が入港するたびに、商館長は幕府に「オランダ風説書」を提出した。

問 8 下線部 (48) に関する説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から 1 つ選び、解答欄 48 にマークしなさい。

- ア 1639 (寛永16) 年の鎖国令で、ポルトガル船の来航を全面禁止した。
- イ 朝鮮は宗氏を通して、将軍の代替わりごとに謝恩使と慶賀使を派遣した。
- ウ 幕府は「四つの窓口」(長崎・対馬・佐渡・松前)を通して外交を続けた。
- エ 長崎の町に雑居していた明国人の居住地を限定するため、唐人屋敷を設けた。

4 この問題は、解答欄 **61** ～ **68** に解答すること。

次の文章 A・B を読んで、後の問いに答えなさい。(23点)

A 日清戦争後の三国干渉によって遼東半島返還を余儀なくされたことにより、日本国内ではロシアに対する敵意が増大した。1903年に対露同志会が結成され、七博士が強硬な主戦論を唱える中、
(61) 非戦論や反戦論を唱える人々が存在した。(62) 内村鑑三は非戦論を唱え、歌人の (63) 与謝野晶子も反戦詩を発表した。日本政府はロシアに対する外交交渉を続けるかたわら開戦準備を進めたが、1904年に (64) 日露戦争は始まった。

問1 下線部 (61) に関する説明で最もふさわしいものを、次の ア～エの中から1つ選び、解答欄 **61** にマークしなさい。

- ア 幸徳秋水は『平民新聞』で日露戦争への反戦を唱えた。
- イ 日露開戦に反対して、堺利彦は片山潜とともに『万朝報』を退社した。
- ウ 『国民新聞』の黒岩涙香は非戦論を盛り上げた。
- エ 戸水寛人は日露戦争反対を唱えたために休職処分を受けた。

問2 下線部 (62) に関する説明で最もふさわしいものを、次の ア～エの中から1つ選び、解答欄 **62** にマークしなさい。

- ア 戊申詔書に最敬礼しなかったことから、不敬事件で教員を辞職した。
- イ 『万朝報』は当初非戦論を唱えていたが、開戦論に転じたため退社した。
- ウ イギリス人クラークを招いた札幌農学校での学生時代にキリスト教に入信した。
- エ 聖書を通してキリストに直接向き合う日本的教会組織を設立した。

問3 下線部 (63) に関する説明で最もふさわしいものを、次の ア～エの中から1つ選び、解答欄 **63** にマークしなさい。

- ア 歌風は情熱的で華麗であり、『舞姫』を発表した。
- イ 夫の与謝野鉄幹とともに、詩歌中心の文芸雑誌『明星』を創刊した。
- ウ 夫の与謝野鉄幹は、写生に基づく俳句・短歌革新運動を提唱した。
- エ 「君死にたまふこと勿れ」は戦地の夫を思う妻の心を歌ったものであった。

問4 下線部(64)に関する説明で最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄
64 にマークしなさい。

- ア 約17億円の軍事費の多くは内外の国債に依存したが、内債が外債を上まわった。
- イ アメリカのフランクリン＝ローズヴェルト大統領に講和の斡旋を依頼した。
- ウ 講和条約に抗議した日比谷焼き討ち事件を受け、政府は戒厳令を発した。
- エ 講和条約で、ロシアは北緯50度以北の樺太(サハリン)と付属の諸島を譲渡した。

B 政府は(65)殖産興業を推進するうえで西洋美術教育の必要を認め、工部美術学校を開いて外国人教師に西洋美術を教授させたが数年で閉鎖した。その後、伝統美術育成の態度に転じて、1887年に西洋美術を除外した(66)東京美術学校を設立した。1896年には東京美術学校に(67)西洋画科が新設された。彫刻の分野では、(68)高村光雲の伝統的な木彫と荻原守衛らの西洋流の彫塑とが対立・競合しながら発達した。

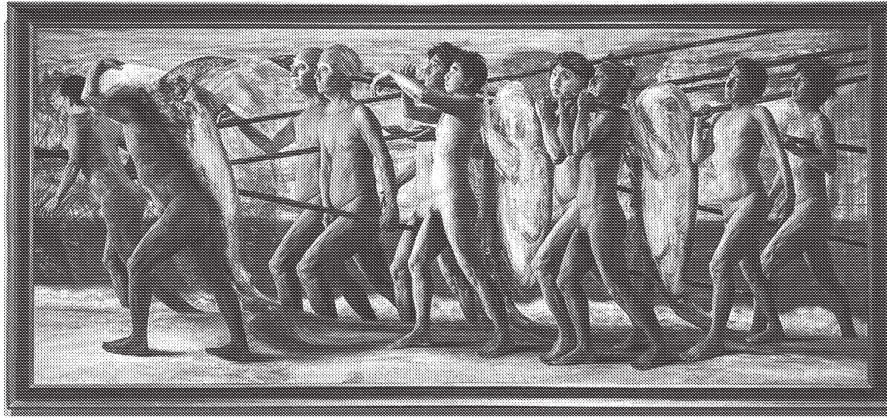
問5 下線部(65)に関する説明で最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄
65 にマークしなさい。

- ア 官営模範工場として、栃木県に富岡製糸場を設けた。
- イ 関所や宿駅・助郷制度の撤廃、株仲間などの独占の廃止を行った。
- ウ 軍備の近代化を担う工場として東京と佐世保に砲兵工廠を開いた。
- エ 1869年に電信線は東京・大阪間に初めて架設された。

問6 下線部(66)に関する説明で最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄
66 にマークしなさい。

- ア 狩野探幽は日本画を創作し、代表作「悲母観音」を発表した。
- イ 校長となった岡倉天心はインド・欧米に旅し、白馬会を設立した。
- ウ 設立にかかわったのは、東大でも講義したドイツ人のベルツだった。
- エ 横山大観は日本画の近代化を目指し、水墨画の研究に励んだ。

問7 下線部 (67) に関して、以下の作品の作者を次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄 67 にマークしなさい。



ア 橋本雅邦 イ 浅井忠 ウ 青木繁 エ 黒田清輝 オ 菱田春草

問8 下線部 (68) に関する説明で最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 68 にマークしなさい。

- ア 1893年に開かれたシカゴ万国博覧会に出品して入賞し、代表作「女」で知られる。
- イ 代表作に伝統的な木彫技法と新しい写生的技法を調和させた「老猿」がある。
- ウ 息子の高村光太郎は平塚らいてうらが発行した『青鞥』の表紙をデザインした。
- エ 彫刻家として活躍するだけでなく、人道主義的作風の口語自由詩を発表した。

5 この問題は、解答欄 **81** ～ **84** に解答すること。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(8点)

(81) 1973年に第4次中東戦争が勃発すると、アラブ産油国は反アラブの立場をとる国への原油輸出を禁止・制限し、さらに原油価格を大幅に引き上げた。このため第1次石油危機が発生し、欧米諸国や日本の経済成長率が低下し (82) 「世界同時不況」におちいった。さらに1979年には第2次石油危機が発生した。

石油危機により、先進諸国は (83) 産業構造の転換や経済の効率化などの必要に迫られることとなった。日本は (84) 代替エネルギーの開発や産業の高度化などの政策転換によってこの危機を克服し、経済面での国際的地位を向上させた。

問1 下線部 (81) に関連して、1970年代前半の世界各国の状況について述べた文として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄 **81** にマークしなさい。

- ア フランスでは学生運動をきっかけに広範な社会的異議申し立て運動が起き、ド・ゴール大統領を辞任に追い込んだ。
- イ アメリカではキング牧師らを指導者とする公民権運動が高まった。
- ウ 中国は急速な農工業の発展を目指した「大躍進」政策を推し進めた。
- エ イギリスはデンマーク、アイルランドなどとともにヨーロッパ共同体 (EC) に加盟した。
- オ ベトナムが東南アジア諸国連合 (ASEAN) に加入し、経済協力が拡大した。

問2 下線部 (82) への対応として開かれた国際的な会合として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 **82** にマークしなさい。

- ア アジア太平洋経済協力 (APEC) 会議
- イ 先進国首脳会議 (サミット)
- ウ 経済相互援助会議 (COMECON)
- エ 国連人間環境会議 (ストックホルム会議)

問3 下線部(83)に関連して、石油危機後の世界各国における動向を説明した文として最もふさわしいものを、次の ア～エの中から1つ選び、解答欄 **83** にマークしなさい。

ア ソ連は原油価格の高騰により利益を得ており、従来の産業構造を大きく変えることはなかった。

イ イギリスのサッチャー政権は、福祉国家型の経済政策により社会不安への対応をはかった。

ウ アメリカは金ドル本位制を停止し、基軸通貨であるドルの信用低下を防いだ。

エ 中国では周恩来が実権を掌握し、科学技術の革新など改革開放路線を推進した。

問4 下線部(84)に関連して、1980年代の状況について述べた文として最もふさわしいものを、次の ア～エの中から1つ選び、解答欄 **84** にマークしなさい。

ア 原子力エネルギーへの依存度が上昇した。

イ 石炭エネルギーへの依存度はほぼゼロになった。

ウ 軽工業から重化学工業への転換が進んだ。

エ 工業化により環境問題が深刻化し、環境庁が設置された。